

臨床発達心理実践研究 倫理チェックリスト（投稿・寄稿者用）

本表は、日本臨床発達心理士会の実践研究誌「臨床発達心理実践研究（以下、実践誌）」への投稿を予定する会員、及び編集委員会が研究倫理、特に対象者の人権尊重、プライバシー保護に関する基本事項を確認するものです。

- ① 本表は、「人を対象として」行われる研究に基づく論文投稿で、投稿者自らが倫理的事項を確認するものです。チェックボックスにレ点を入れ、ご署名の上、投稿時に併せてご提出ください。
- ② 実践誌「編集規定」にある原著論文・資料論文・地域発達支援紹介のカテゴリの別を問わず、「人を対象として」行われる研究の全てが該当します。
- ③ 実践誌「編集規定」にある実践研究・調査研究・質的研究の研究手法の別を問わず、「人を対象として」行われる研究の全てが該当します。
- ④ 既存の先行研究や報告等に基づく文献的考察による研究は非該当です。

【1】 論文は“人を対象として”実施された研究ですか？

はい・いいえ（いずれかに丸） “はい”の方 ……以下の項目をご確認の上、ご署名の上ご提出ください。
“いいえ”の方…署名のみをされご提出ください。

【2】 以下の各項目を“レ”でチェックしてください**（人権の尊重）**

- 01 対象者の人権を尊重し、不適切あるいは差別的な表現を用いていません。
02 対象者や家族、機関の名誉を棄損する、不利益に繋がる記述はありません。

（個人情報保護）

- 03 対象者の個人情報の保護に最大限留意し、対象者や関係者が特定できないようにしました。

避けなければならない
表記や情報
(ない場合に
チェック)

- 個人名や機関名、団体名が特定されやすいイニシャルなどの表記
対象者が特定されるような、加工が不十分な事例やエピソード
具体的な支援年月日
分析や考察に必要な個別の情報（地域名や保護者の職業など）

（説明と同意）

- 04 対象者（もしくは代諾者）や対象者に関わる人から同意（インフォームド・コンセント）を得ました。
対象者（中学生以上）、または代諾者（対象者の保護者、あるいは保護者の代理人）
対象者の所属機関長（施設・学校等）
その他対象者に密接に関わる人（例：支援団体内での共同支援者、コンサルテーションにおけるコンサルティヤ、コンサルテーションを行った機関や組織の長等）
上記の人から同意を得られない場合、その理由を本文に明記しました。
- 05 上記04では、研究目的や方法、扱う情報の範囲、公表の手段等、相手に分かりやすく適切に説明しました。
- 06 上記04の研究協力は任意であり、対象者（もしくは代諾者）の許諾の自由意思を尊重し、強制のかからない状況下で依頼をいたしました。
- 07 上記04では、対象者（もしくは代諾者）や対象者に関わる全ての人の承諾を「書面」にて確認しました。
- 08 職務として関わった実践に関しては、論文の投稿に際して所属長の許可を得ました。
(職務として関わった実践ではない場合は、チェックは不要)

（情報の管理）

- 09 対象者に関わる情報を適切に扱い管理し、情報の漏洩や散逸を防止します。
10 研究上知り得た情報管理の徹底は、研究継続期間のみならず、終了後も、最低10年間、行います。

（その他）

- 11 対象者からの研究に関する問い合わせに、適宜、対応することが可能です。
12 投稿者の所属機関にて既に研究倫理審査を経ている場合、その旨も本文に記載します
(該当する研究倫理の審査機関が無い場合は、チェックは不要です)。
13 倫理的配慮に関する事項を、投稿論文の中に明記いたしました。
14 「編集規定」「投稿規定」（実践誌の裏表紙）を熟読しました。
15 連名者同士で再度熟読し、倫理的問題の有無を確認いたしました（単著は除く）。

上記の記載内容に相違はありません。

〔記入日時〕 年 月 日

〔論文標題〕

〔研究代表者所属〕

〔研究代表者氏名〕

※本用紙をプリントアウト、直筆署名の上 PDF ファイル化し、投稿論文とともに所定の入稿先まで後提出ください。